

津市の未来を切り開く!! 職務経験者採用

前葉市長を交え、平成28年度職務経験者採用職員10人の座談会が7月14日(木)に行われました。「今までの経験を生かしてやりたいこと」をテーマに、さまざまな分野の職務経験者から津市の将来に向けた思いが語られました。

★ 学習塾講師から転身

家庭学習の重要性を強く感じている 津市の教育レベルを上げていきたい

職員 「塾の運営に16年間携わってきた私が感じているのは、家庭学習の重要性でした。教育レベルを上げるには家庭学習の定着が欠かせず、より多くの家庭を支援するためには教育行政に関わる必要があると考えました。そのため、現在、公民館講座の家庭教育支援セミナーの企画に取り組んでいます」

市長 「家庭学習の大切さはPTAの方々との会話の中でも出てきます。これからの公民館は地域との交流を上手く進めていく必要がありますから、ぜひ家庭学習をテーマにしたさまざまな講座の企画を考えてみてください」



★ 化学メーカーから転職

工場が閉鎖となった苦い経験 その思いを津市の工業発展に注ぎたい

職員 「リーマンショック後、長年勤務していた津市にあった工場が閉鎖となり、家族と離れ単身赴任を余儀なくされた苦い経験があります。26年間身に付けてきたメーカーでの専門スキルを津市の工業振興のために生かしたいと思っています。あの時の悔しい思いは忘れません」

市長 「職務経験者の方は皆さんそれぞれの分野に関する専門スキルを持っています。それを新卒採用に求めるのはなかなか難しい状況です。工業分野での経験を、今までにない発想でぜひ生かしてほしいと思っています」

★ ケーブルテレビ会社から転職

18年間の番組制作経験が最大の武器 行政放送の質を高めていきたい

職員 「津市の取り組みや事業をどのようにすれば、市民の皆さんに広く分かりやすく伝えることができるのか日々悩んでいます。また、庁内での情報共有も重要ですので、その部分にも関わっていきたくと思っています。今後の行政放送の在り方を掘り下げ、どのようにしていくべきか、その方向性についても示していきたいと思っています」

市長 「あまり先入観を持たずに広い視野で考えるといいと思います」

